

腎障害（腎機能低下）注意DB

■ 概要

- ・腎機能が低下した患者さんへの投与に注意が必要な医療用医薬品についてのデータベースです。
- ・腎機能別（クレアチニンクリアランス（Ccr）、推算糸球体濾過量（eGFR））に投与量・投与法をデータ化しています。

■ 特徴・機能

- ・添付文書や各種資料をもとに、投与量・投与法などを独自に構成して登録しています。
- ・腎機能低下時に投与量の調節が必要な医薬品について、注意喚起を行うことが可能です。
- ・腎機能の低下状態や検査値に応じた適正なチェックを行うことが可能です。
- ・半減期、尿中活性体排泄率などの薬物動態パラメータの参照が可能です。

■ 目的・利用場面

- ・電子カルテにおいて、腎機能低下時における投与量・投与法の処方設計にご利用いただけます。
- ・調剤薬局・薬剤部門システムにおいて、処方内容の監査時のチェックにご利用いただけます。

■データ例

ゾビラックス錠200の添付文書（抜粋）

<用法及び用量>

[成人]

単純疱疹：

通常、成人には1回アシクロビルとして200mgを1日5回経口投与する。

造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制：

通常、成人には1回アシクロビルとして200mgを1日5回造血幹細胞移植施行7日前より施行後35日まで経口投与する。

带状疱疹：

通常、成人には1回アシクロビルとして800mgを1日5回経口投与する。

<用法及び用量に関連する注意>

クレアチニンクリアランス (mL/min/1.73m ²)	単純疱疹	带状疱疹
> 25	1回200mgを1日5回	1回800mgを1日5回
10~25	1回200mgを1日5回	1回800mgを1日3回
< 10	1回200mgを1日2回	1回800mgを1日2回



投与条件	Ccr 範囲	推奨投与方法	一回量 最大値	投与 回数	一日量 最大値	単位
効能効果： 带状疱疹	0~10	1回800mgを1日2回	800	2	1,600	mg
	10~25	1回800mgを1日3回	800	3	2,400	mg
効能効果： 単純疱疹、造血幹細胞移植 における単純ヘルペス感染症	0~10	1回200mgを1日2回	200	2	400	mg
	10~25	1回200mgを1日5回	200	5	1,000	mg

■データの表示例

Ccr: 20mL/minの患者さんに带状疱疹でゾピラックス錠200を投与する場合

投与条件 効能効果：带状疱疹	
10 ≤ Ccr (mL / min / 1.73m ²) < 25	
1回800mgを1日3回	
文献情報	添付文書、インタビューフォーム

薬物動態
パラメータを参照



薬物動態情報		
尿中活性体 排泄率	68.6～76 (%)	【注射剤の添付文書/IF】
半減期	2.51時間	〈国内〉健康成人に200mgを単回経口投与 (n=8)

患者さんの腎機能に合致する投与量、投与法の参照が可能です。